

令和8年度定年制インターンシップ 札幌地域援護センター

札幌地方協力本部札幌地域援護センターは、6月3日（水）、札幌市に本社を置き、道内の電力需要を支える北海道電力株式会社泊発電所の協力を受け、令和8年度から令和11年度に定年退職を迎える予定の若年定年制隊員15名に対し、インターンシップを行いました。

はじめに、発電室長による挨拶、発電課長から会社の概要説明、OBによるシビアアクシデント対応チーム（24時間365日態勢で重大事故等の対応を専門的に行うチーム）が実施する訓練内容の説明が行われ、その後、発電所に隣接する原子力PRセンター「とまりん館」にて館内の全般説明、展示されている原子力関連設備の説明が行われました。最後に全般を通じた質疑応答及びOBとの懇談が行われ、参加した隊員からは「発電所内の業務について知識を得ることができた」「処遇面も魅力があり、再就職先の候補の一つとして考えたい」などの声が寄せられました。

引き続き、札幌地方協力本部は、企業等に対し自衛官の有用性を周知するとともに、隊員が再就職準備を不安なく進められるよう、部隊と連携を図りつつ親身な就職の援助を行っていきます。



OBによるシビアアクシデント対応チームが実施する訓練内容の説明



「とまりん館」館内の全般説明

原子力PRセンター「とまりん館」

